



公益社団法人 **日本歯科先端技術研究所**

2025年度 **第1回 学術講演会**

インプラントを応用した咬合治療のバリエーション

主管：(公社)日本歯科先端技術研究所 東海地区

大会長：近藤 昌嗣 (東海地区会長)

2025年6月15日(日) 10:10~12:30

開催場所: **愛知県産業労働センター**

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

参加費 会員・会員スタッフ：無料
非会員：3,000円

10:10~ 開会のご挨拶

10:20~11:00 遠藤 富夫先生

インプラント治療と矯正治療の融合

Combination of implant treatment and orthodontic treatment



1999年 日本大学松戸歯学部卒業

医療法人社団監美会 あざみ野アーク歯科
クリニック理事長

- (公社)日本口腔インプラント学会専門医
- (公社)日本歯科先端技術研究所認定医・指導医

インプラント治療は欠損部に対する治療方法として認知され、臨床ではインプラント治療をされている患者に遭遇することは珍しくない。欠損部にインプラント治療をすることにより、患者の QOL の改善に役立っていることは周知の事実である。しかし天然歯のポジションが悪いままインプラント治療をした場合は時間と共に口腔内の環境を長く維持していくことは、時として難しい場合がある。今回、インプラント治療と矯正治療を行い適切なインプラント治療の環境を整えた症例や、インプラント治療を含めた全顎治療をされてから咬合の問題を生じ、インプラントと矯正治療をもちいて改善した症例を供覧して頂き、皆様のご意見を頂きたい。

11:00~11:40 吉野 晃先生

一歯欠損からはじめるインプラント治療

Management of Single-Tooth Loss with Implant Therapy



1997年 明海大学歯学部卒業

2001年 明海大学大学院歯学研究科卒業 歯学博士

医療法人社団深敬会 吉野デンタルクリニック理事長

- (公社)日本口腔インプラント学会専門医・指導医
- (公社)日本歯科先端技術研究所認定医・指導医・専務理事

欠損歯列に対する補綴治療の目的は「歯及び周囲組織の欠損から生じる咀嚼・発音機能や審美性の低下を回復し、患者の QOL の改善を図ること」とされています。多様な治療法のなかから一つを選択する臨床判断を求められたとき、インプラント治療は最優先の治療法として選択され得るものなのでしょうか？今回、「咬合回復」と「欠損拡大の予防」という視点から一歯欠損を通して改めてインプラント治療の現在地について考える機会にしたいと思います。

11:40~12:20 船木 弘先生

インプラントを用いた咬合再構成 ~その基準と手技~

Occlusal Reconstruction using Implants : Criteria and Clinical Approach



2001年 日本大学松戸歯学部卒業

2005年 東京都足立区にて日比谷歯科医院開業

2020年 日本大学歯内療法学講座学位取得・歯学博士

日本大学松戸歯学部歯内療法学講座非常勤講師

- (公社)日本口腔インプラント学会専門医
- (公社)日本歯科先端技術研究所認定医・指導医

現在インプラントの咬合に関する統一見解は存在しないが、その予知性の高さから一般的な歯科治療の選択肢としてインプラントが広く浸透し、口腔内にインプラントと天然歯が共存することも多く口腔内の環境は複雑化している。そのためインプラント治療を手がける歯科医師は天然歯や少数歯インプラント治療における咬合だけでなく、インプラントと天然歯が混在するような複雑な咬合再構成にいたるまでの咬合についても理解しておくべきであろう。そこで今回は咬合再構成が必要か否かの診断から、私のインプラントを応用した咬合再構成における咬合平面決定基準や下顎位決定方法などを症例を供覧していただきながら解説し皆さまからの意見を伺いたい。

12:20 質疑応答

お問い合わせ(公社)日本歯科先端技術研究所

12:30 閉会のご挨拶

TEL:03-5476-2004 FAX:03-5476-2006

(公社)日本歯科先端技術研究所 2025年度 第1回学術講演会参加申込方法

下記必要事項をご記入の上、2025年6月6日(金)までにQRコードまたは日先研ホームページ (<https://www.nissenken.org/>) より申込みをお願いします。

必要記入事項 ①氏名 ②氏名かな ③所属医療機関、診療科 ④所属医療機関住所 ⑤所属医療機関電話番号 ⑥e-mail ⑦連絡先電話番号 ⑧日先研会員か非会員か

※講演抄録は、日先研学術会誌または日先研ホームページ (<https://www.nissennkenn.org/>) を参考にして下さい。

